

首都東京を支える道路の維持管理

日常的な点検などにより、道路状況を的確に把握し、適切な維持、計画的な補修・補強を行うことで、だれもが安全・安心で快適に利用できる道路ネットワークを確保しています！！



道路の状況を的確に把握

巡回パトロール

道路の小さな凸凹やガードレールの破損などを発見しています。



(3日に1回程度の頻度)

道路延長 約2,200km

路面状態や橋梁、トンネルなどの定期的な点検

定期的な点検は、人間に例えると健康診断にあたり、道路施設の健康状態を把握するものです。点検の結果を踏まえ、計画的に道路機能の充実を図っています。



路面性状測定車

(3年サイクル)



橋梁点検車

(5年サイクル)

橋梁 約1,200橋



高所作業車

(5年サイクル)

トンネル 約120箇所

台風や地震などの際に行う点検

台風・集中豪雨・地震等の災害時に道路施設の安全を確認するために緊急点検を行います。



中央自動車道笹子トンネルの事故後、東京都で管理する全てのトンネルを対象に緊急点検を行い、不具合がないことを確認しました。

適切に道路機能を維持

路面や街灯の維持修繕

巡回パトロール等において、舗装の損傷や劣化、街路灯の不具合等を発見した場合には、状況に応じた維持修繕を行い、事故を未然に防いでいます。



応急作業



街路灯のランプの取替

橋梁の維持修繕

塗装や損傷箇所の修理等を適切に行うことで、橋を良好な状態に保つとともに、事故を未然に防いでいます。



塗装工事



ランプの取替

道路清掃

自動車や歩行者が安全で快適に道路を利用できるよう都道では道路上のゴミや落ち葉などを取り除くため、道路清掃を定期的実施しています。



車道清掃



人力による歩道清掃

計画的な道路機能の充実

舗装の補修

自動車による振動・騒音の軽減や交通事故防止のため、舗装の打換により、平坦な路面の確保に努めています。歩道においては、高齢者や車いすを利用する方にも配慮し車道工事にあわせ、段差・勾配の改善を図っています。



車道 (施工中)



歩道 (施工後)

橋梁の長寿命化

橋の損傷状況を予測し、最新の技術により対策を施すことで、橋の寿命を延ばし総事業費の削減を図っています。



長寿命化工事 (施工中)

橋梁の耐震補強

緊急輸送道路等において、地震時の救助救援活動等が円滑に行えるよう橋梁の耐震化を進めています。



落橋防止装置

山岳道路斜面の安全対策 (多摩地域や島しょ地域)

台風や集中豪雨等による落石や斜面崩壊などの土砂災害を未然に防止するため、危険度の高い斜面から順次、落石防止網、法枠などの災害防止対策を実施しています。



落石防護工



モルタル吹付工 (施工中)



『ニシローランドゴリラ 群れの中での初めての出産』

恩賜上野動物園 北田 祐二

ニシローランドゴリラのメス“モモコ”は、2009年の“コモコ”出産後、約3年間子育てに専念していました。その間、コモコの父親“ハオコ”と一定の距離を保っていましたが、昨年8月の交尾後、検査で妊娠が判明しました。

海外の先進的な動物園では、野生同様、ゴリラに群れの中で妊娠や出産、子育てをさせ、肥満防止にも気を配っています。上野動物園も群れの中での学習や健康な生活ができる場を調えるのが最重要と考え、夜は別の部屋で過ごしていたモモコ親子も含めた5頭を昨年1月から24時間いっしょにし、食事野菜と枝葉中心に変えました。

モモコの過去2回の出産データから予想した出産予定日は4月25日。その前日の24日夕方、係員が観察モニター室に集まりました。予定日は大潮で、人間の場合、出産が増えるとも言われます。「まさか、そんなの当てにならないよ」と誰かが口にし、笑いが起こった少し後、モモコが自分で陰部を触り、手に着いた物を嗅ぎ始めました。しばらくすると弱い陣痛が見られ、1時間もしないうちに強い陣痛に変わり、18時8分、他の個体に見守られながら、モモコはメスの赤ちゃんを産みました。ハオコとコモコは赤ちゃんに興味津々で、そっと手を伸ばしてはモモコに払いのけられていました。

血縁関係のない個体がいる群れの中でのゴリラの出産は国内初です。幼いコモコにとっては、将来に向けての大切な勉強になったことでしょう。



~動物園の“かお”~

恩賜上野動物園 木曾馬の「春嵐」

今年の4月4日に誕生した木曾馬の赤ちゃんです。



誕生日：4月4日 撮影日：4月29日